

(公社)愛知建築士会会員 各位

(公社)愛知建築士会
会長 廣瀬 高保

平成 30 年会長選挙推薦候補届出書(所信)について

平成 29 年 10 月 25 日に、平成 30 年会長推薦候補届出を締切りました。
被推薦者 2 名の氏名等は、届出順に次のとおりです。

下會所 豊氏(別紙参照)

柳澤 講次氏(別紙参照)

会長推薦選挙について

上記候補者について、平成 29 年 12 月 5 日(火)開催の運営会議において定款細則第 12 条第 2 項
第 2 号第 3 の規定に基づき、運営会議構成員による記名投票を行い、選挙いたします。

なお、運営会議構成員の方々の氏名は次の通りです。

会 長	廣瀬 高保				
副 会 長	山田 正博	柳澤 講次	森 眞	中島 祥成	
専務理事	三宅 和彦				
常務理事	本多 隆志	小野 全子	近藤 円	濱田 修	
理 事	長沼 宏	小野 博之	浅井 裕雄	石井 隆司	河田 健
	筒井 裕子	安藤 康広	山口 啓一		
監 事	伊藤 京子				
支 部 長	長谷川 実	野村 幸彦	矢田 親	河原 雅己	壁谷 兼久
	塚本 正二	林 雄大	坊田 隆志	井上 貴仁	林 秀和
	夏目 学	滝 裕司	岩瀬 計介	伊藤 誠	向井 稔
	丹羽 哲矢	飯田 真寿郎	森下 一保		
委 員 長	尾崎 武寛	高倉 康人	小笠原 靖	牛田 信彦	水谷 友彦
	坂口 博文	野田 潤	大原 さとみ	岡田 巖	奥村 由美
	近藤 豊	村上 岳史	江上 一枝		

(以上 50 名)

被推薦者の氏名等は別紙の通りです。(届出順)



下會所 豊

(経歴)

昭和 18 年	長野県生まれ
昭和 41 年	名城大学工学部建築工学科卒業
昭和 55 年	下會所設計設立
昭和 55 年	愛知建築士会入会
平成 20 年～平成 23 年	技術研修委員会 委員長理事
平成 24 年～平成 26 年	名古屋名南支部 支部長
平成 22 年～ 現 在	木塾委員会 委員
平成 24 年～ 現 在	技術研修委員会 副委員長

士会会長に立候補する際の理念

この度私は、建築士会の現況を考えた場合、先行きが不安になり少しでもお役に立ちたいとの考えから、立候補することになりました。

立候補するに際しての理念を記載させていただきます。

- 1、 従来の古い体質を改善し、新しい考えで組織の在り方を考え直す。
- 2、 大きな組織改革を行う。
 - ・類似した事業を行う委員会等は統廃合する。
- 3、 10 年後の建築士会を見据えたうえで、状況を考える。
 - ・今まで以上若い会員の活動の場を増やす。
 - ・青年部の年齢制限を今以上に延ばす。
 - ・高齢者会員の優遇を考える(65 歳以上)。(例えば会費を安くする)
 - ・若い人が入り易い組織づくりをする。
 - ・現会員のメリットを再度構築する。
 - ・士会の会員以外の建築士が入会しやすい雰囲気を作る。
- 4、 高齢者会員の活動の場を設ける。
 - ・高齢者大学を設けて、リタイヤした人たちの有能な専門知識を後継者に享受してもらう。
- 5、 子育てを一段落した女性会員に対して活動の場を考える。
- 6、 委員会等組織を統廃合等行い改革する。
- 7、 セミナーの在り方を考え直す。
- 8、 公益事業を増やす。
- 9、 財政が豊かになる事業を考える。
- 10、 あいち住まいのフェアの実行の在り方を考える。
- 11、 委員会に事業費を与えて事業を行う。



柳澤 講次

(経歴)	昭和 26 年	名古屋市生まれ
	昭和 50 年	明治大学工学部建築学科卒業
	昭和 50 年～昭和 52 年	(株)谷脇建築事務所
	昭和 52 年～ 現 在	(株)柳澤設計事務所
	昭和 59 年	愛知建築士会入会
	平成 11 年～平成 12 年	評議員
	平成 16 年～平成 20 年	名古屋北支部 支部長
	平成 20 年～平成 21 年	評議員
	平成 22 年～平成 26 年	常務理事
	平成 26 年～ 現 在	副会長

建築士の新たな広がり挑戦

日本は、人口減少、高齢化またライフスタイルの多様化の成熟期を迎えています。その中、各地で起きる災害への備えなど、建築士に期待される活動は幅広く求められています。

県下で最大の職能集団である(公社)愛知建築士会は、その役割を担うプロフェッショナルな集団でなければなりません。それには、建築士の職能、職域を広く市民に告知し、行政や自治体、更に地域の市民活動とも密接に連携し、社会貢献を通じて建築士の役割を知っていただきたいとおもいます。

建築士会は、建築士の職能を更に高めるためのプログラムを用意し、会員同士が交流や議論をもって切磋琢磨することで建築士の地位向上を図ります。

そのために、士会の運営改革を積極的に進め、会員の相互利益につなげます。

社会への活動

行政との積極的な関係づくり

防災・環境・まちづくり・法規などへ業界リーダーとして、積極的に行動します。

地域の価値を見つける目利き

県下の新たな価値を見極める地域貢献活動

学びをとおして社会貢献

エンジニアとしてのスキルアップを実践し市民に還元

情報発信を使った社会認知度の向上

さまざまなメディアを使って、建築士の活動・職能を広報し、認知向上を図る。

士会の活動

縮減社会での組織運営

財政等、取捨選択の運営改革

支部や委員会と本会のスムーズな情報伝達システムの創設

委員会の運営

これまでの委員会活動の経験を活かし、時代のニーズにあった運営を進めます。

会員どうしの交流

事業活動等を通して、会員同士の友情や懇親をサポートします。

建築士の資質向上

建築士の更なるスキルアップへ、教育プログラムなど企画します。

会員の業務支援

職域、職能を広げ、活躍する場の創設をサポートします。

失敗を恐れず、結果を出す！

建築士の地位向上と建築士会の発展に向けて、支部・委員会・執行部が共通のテーマを共有し、会員の相互の利益を目指すため、失敗を恐れず活動する。